東海新報

発行所
株式会社東海新報社
〒022-0002 大船渡市大船渡町字鷹頭9-1
電話番号 0192-27-1000㈹
ファクシミリ 0192-27-2154
振替口座 02300-9-188

©東海新報社

東海新報Web
http://www.tohkaishimpo.com/

きょうの紙面

- 避難者名簿（大船渡市、陸前高田市）と生活関連情報……2面
- ライフライン復旧状況、電気、上水道、固定電話の見通し……4面
- 避難所となる大船渡地区公民館に郵便局の臨時窓口を設置……4面

本紙は、11日に発生した東日本大震災の影響で、13日から4ページ建て新聞を発行しています。3月いっぱい、**無料**で配布させていただいています。ご了承ください。

東海新報社

安否情報・伝言メモ

本紙は、安否情報や伝言メモを本社で随時受付しています。紙面をご自由にお使いください。また、窓口に当日発行紙を置いています。避難場所でもご覧になれます。

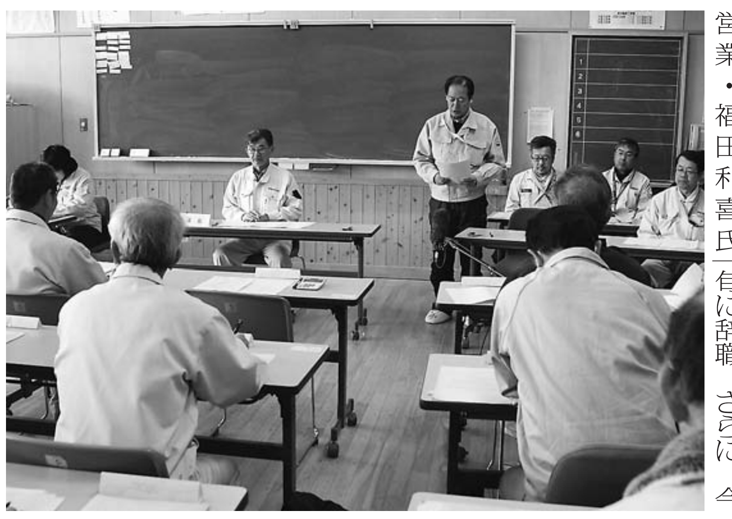
異例の臨時会で可決

新年度予算など8議案

3月定例会が大震災で流会

陸前高田市議会

東日本大震災の影響により新年度予算案が議決できなかった陸前高田市議会（西條廣議長）は28日、市立第一中学校で臨時会を開き、平成23年度の各種予算8議案を原案通り可決した。一般会計の総額は108億円で、震災前に発表した予算案通りとした。震災による復旧費は補正予算で対応する。



大震災による被害状況を説明する戸羽市長（中央右）＝陸前高田市立第一中学校

同市議会の議員定数は20人。このうち、自営業・福田利喜氏（52）＝小友町＝が県議選立候補のため2月下旬に辞職。さらに、今回の大震災により自営業・米澤政敏氏＝高田町＝の死亡が確認されたほか、政党役員・及川一郎氏（63）＝同＝が行方不明となっている。

臨時会には、このほかの17議員が全員出席。冒頭、西條廣議長は「今回の大震災により多くの尊い人命が失われた。犠牲になった方々に謹んで哀悼の言葉をささげたい。今後は市民一丸となり、一日も早く本市が復興するよう望んでいます」と語り、全員で1分間の黙とうを行った。

戸羽太市長は震災の被害状況について「27日現在、本市の被災戸数は3600戸で、被災者数は1万5547人、死者が941人にのぼっている」と説明。

その上で「市の中心部である高田町は壊滅的な状況。市の庁舎が全壊したため、これまで蓄積してきた情報をすべて流失してしまい事務手続きが滞っている。今後もライフラインの復旧や仮設住宅の建設に全力を挙げ、市民生活が安定するよう努めたい」と述べた。

議事に入り、23年度の市一般会計予算をはじめ、6特別会計と水道事業会計の計8議案を原案可決。総額は173億3900万円で、市政運営の柱となる一般会計予算の総額は108億円（現年度当初比5億4100万円減）とした。

当初、これらの新年度予算案は15日を最終日とする3月定例会で議決する予定だった。しかし、その4日前の11日に東日本大震災が発生。議決できないまま流会となっていたことから、臨時会を開いて原案通り可決した。

金融機関に特別窓口

手形・小切手決済で

金融機関では、月末の引き落とし、決済が近づいていることから、各銀行等に震災関連特別窓口を設けた。「まず銀行に連絡を」と呼びかけている。

震災の影響で資金不足に伴う手形・小切手の決済については、「不渡り」にしないことが決まった。ただし、金融機関への事前の連絡が必要。

電話での連絡のみで、月末の金融機関への返済は止められる。ただし同様に事前連絡もしくは金融機関への来店が必要。どの店舗でも構わない。

融資に関してはかなり寛大。まず書類などがなくても、金融機関に連絡し、つなぎ融資について相談を。ただし、仮の事務所がなければ、申し込みが難しいので、段階を踏んだ対応が必要。

金融機関の震災関連特別窓口は、岩手銀行（TEL0120・064626）、東北銀行（TEL0120・164416）、北日本銀行（TEL0120・333061）。いずれも午後5時まで受付。

気仙沼信用金庫は、気仙沼市駅前支店（TEL0226・23・1020）のみ営業（他店舗は休止）。日本政策金融公庫は平日午後7時まで。全事業（TEL0120・154・505）国民生活事業（TEL0120・220・353）中小企業向事業（TEL0120・327・790）。

「きたぎん」が臨時窓口設置

サン・リアに

きたぎん大船渡支店は、28日から大船渡市盛町にある南三陸ショッピングセンター「サン・リア」正面入口に臨時窓口を設置した。営業時間は午前9時から午後3時まで。

1日につき1人10万円までの払い戻し可能。通帳またはキャッシュカードと本人確認書類（免許証、保険証など）が必要。ATMは使用不可。土、日曜日も対応する。個人・事業者向けの災害復旧資金取扱中。大船渡支店の代替取り扱い店舗は遠野支店となっている。

陸前高田で死者1000人超

行方不明者も多数

大船渡は267人

28日現在

大船渡市

大船渡市によると、28日現在午後4時30分時点での死亡者数は267人で、前日よりも6人増えた。安置場所は大船渡町の西光寺と立根町の大船渡一中体育館、三陸町綾里の宮野地区多目的集会施設の3カ所となっている。

行方不明者数は259人で、前日と変わらず。生存判明者は6人で、死亡判明者は1人。また、新たな不明者7人を加えた。門之浜湾や綾里湾、越喜来湾を範囲に、同日から海上自衛隊による捜索も開始された。

26日には、雇用促進住宅の抽選が行われた。大船渡町の大船渡宿舎は65戸に対し272件、赤崎町の赤崎宿舎は58戸に対し115件の応募があり、全体の倍率は約3・1倍。28日に当選者と面談し、入居可能という旨を伝えた。

28日からは、被災した家屋のり災証明書の交付申請受付も開始。受付窓口は市役所税務課で、交付対象者は家屋の所有者またはり災した家屋の居住者となっている。証明手数料は無料。印鑑または本人確認書類（運転免許証）が必要となるが、津波により流出した人に対しては、母印での押印などの対応を検討している。

このほか、奥州エフエム放送㈱と㈱MTS、その他地域コミュニティーFM局の運営協力のもと、同市を運営主体とした「おおふなとさいがいエフエム局」（78・5メガヘルツ）が開局され、31日から市内全域で放送を開始する。内容は▽災害対策本部からの情報▽市内ニュース▽天気、ライフライン情報▽各種団体の情報（店舗再開、企業社員連絡等）▽災害復興支援——など、午前8時、同11時、午後2時、同5時からそれぞれ2時間枠で放送。

29日は、北里大学越喜来キャンパスでの早期授業再開を要望するため、市長以下19人が東京都の同大研究本部へ足を運び、理事長や研究長と話し合いの場を設ける。

陸前高田市

陸前高田市によると、住宅被害数は3600戸で、被災人員は1万5547人。28日午後4時現在の死者数は1019人。27、28日の二日間で、70人の身元が判明。遺体は下矢作小、米崎中、矢作小、矢作中4校の体育館と、住田町生涯スポーツセンターに安置されており、開所時間は午前8時30分から午後5時。火葬は、市と県が指定した自治体で行われている。

行方不明者は、28日午後4時現在で1297人。同日同3時現在、避難所は9地域に80カ所が設置され、避難者は9273人となっている。

市ではこの日、市内各地で流出した家屋のり災証明書の発行をスタートする予定だったが、1カ月程度延期することを決定。戸羽太市長は「市としての調査は99％終えているが、県などの指導でさらに精査が必要とされた」と説明した。

同証明書の提出先が明確な場合は申請のみ受け付ける。被災者であることを示す被災証明書は、提出先が明確な場合に限って随時発行。手続きはいずれも市役所仮庁舎3号の税務課で。

また、同日の記者会見で戸羽市長は4月2日に菅直人首相が市を訪問する予定とし、「仮設住宅4000戸の建設を県に依頼しているが、現段階で確実なスケジュールは出せていない。具体的な日程を早急に表に出せるよう訴えたい」との意向を示した。

住田町

住田町では4月1日から、町コミュニティバスの特別便を陸前高田市竹駒町内まで乗り入れることを決めた。同市内から世田米の県立住田地域診療センターまでの移動を支援する。

上有住線を高田ドライビングスクールまで延長運行するもので、朝、昼の1日2往復を予定。現在、関係機関とダイヤ調整を急いでいる。

遊林ランド種山での被災者への風呂無料開放（貸しタオルと食事は実費）は、スタートを1時間遅らせて午前10時～午後5時とした。陸前高田市方面の往復送迎バスは、発着場所を小友町華蔵寺から竹駒町滝の里工業団地・ハイフーズアマタケそばに変更。日、火、水、木、土は24人乗り、月、金は36人乗りを運行する。到着は午前10時過ぎの予定。

復興は特別立法で

気仙を視察　本県等選出の国会議員団

国会議員団に救済策を要望する水産関係者（左側）＝大船渡市役所

本県選出などの国会議員団が28日、大船渡、陸前高田の両市の被災地を現地視察した。大船渡市災害対策本部では、大きな打撃を受けた市内の水産関係者の要望を受けた。

現地視察は、衆議院議員の階猛、菊池長右エ門、参議院議員の主浜了、藤原良信の本県選出の4氏と、長崎県選出の山田正彦前農林水産大臣が訪れた。上野善晴県副知事らが同行した。

戸田公明市長が被災状況を説明し、大船渡、綾里、越喜来、吉浜の4漁協の組合長、大船渡湾冷代表理事、大船渡魚市場社長らが同席した。

生産者の各漁協組合長は、「海のがれきも国の手で早期に撤去してほしい」「最近は原発のニュースが先。漁業者は後回しのようなので支援をお願いしたい」「漁船が流失したので、船がほしい」などと要望した。

流通加工では、「生産者が水揚げできる体制づくりを急いでいる。買受人のバックアップもお願いしたい」「冷凍冷蔵施設が全滅した。重機も無く腐敗した魚の処分に困っている」と窮状を訴えた。

議員団は、本県沿岸の被害状況を視察して歩いており、山田前農水大臣は「日本の水揚げの4割をまかなっているところが壊滅した。国にとっても大変なこと。激甚災害法ではとても復旧できる話ではない。復興に向けての新たな法を国が全面に立ってやらなければならない。皆さんが安心してもう一度漁業ができるよう我々もしっかりとやっていきたい」と特別立法を目指す考えを明らかにした。

続けて、「必ず復興できるので、ここはぜひ皆さんも頑張ってほしい」と激励した。復興を誓い合って固い握手する場面も。

流通加工業者が困っている冷凍冷蔵庫の魚の処理については、捨て場を確保すれば一般廃棄物で処分が可能とし、がれきを撤去している自衛隊の重機が使えないかを打診して、結果を報告すると答えた。

議員団は、「新しい立法は4月上旬の成案化を目指したい」と述べた。

同日はこの後、陸前高田市も視察した。

連携して復興を

沿岸広域圏　野田釜石市長が強調

県沿岸広域圏の枠組みで気仙と広域行政が一緒の釜石市も、巨大地震津波の大きな被害を受けた。

同市災害対策本部（シープラザ釜石に設置）で救援、復旧を指揮する本部長の野田武則市長は、「大船渡、陸前高田と同様、釜石も大きな被害を受けた。沿岸広域圏の気仙の方々と連携していかなければならない」と共に連携して復興を目指す考えを述べた。

釜石は当初9000人が避難し、その後、3000人が知人宅や内陸の施設に移り、現在、約60カ所の避難所に6000人が共同生活を余儀なくされている。

主食の米や副食も不足しており、市内のガソリンスタンドの約半分が流失。辛抱が続くなか、姉妹都市の愛知県東海市、富山県朝日町などからも被災直後から支援の手が差しのべられている。

同市長は気仙との連携について、「つい最近も3市2町のごみ処理を行う沿岸南部クリーンセンターが完成した。大きな被害もなく間もなく再開できる状況」と説明。「改めて3市2町の連携を深め、それぞれの地域の発展のためにお互いに協力していきたい」と話す。

「連携できるところは連携し、水産振興をはじめそれぞれの地域の特色を生かした振興策を、国に大きなビジョンをつくっていただき、新しい街づくりを共に進めていきたい」と連携して復興を目指すとしている。

気仙との連携して復興を目指す野田釜石市長＝釜石市災害対策本部

高田一中に窓口設置

運転免許証再交付で

東日本大震災で運転免許証を紛失した人に対する再交付手続き用窓口が、30日と4月6日の両水曜日、陸前高田市高田町の市立第一中学校に開設される。利用を呼びかけている。

時間は両日とも午前10時から午後1時まで。希望者は運転免許証用写真1枚、印鑑（シャチハタは不可）、本人確認書類（健康保険証、パスポートなど。なくした人はなくても手続き可能）を用意すること。

また、28日からはこれまで運転免許事務を休止していた大船渡警察署が、再交付のみ申請の受付を始めている。

手数料（3650円）は、津波で流出した人に限り不要。時間は午前9時から午後4時まで。

このほか、手続きは、盛岡、県南（金ケ崎町）、県北（久慈市）の3運転免許センターで受付中。月曜から金曜日（盛岡は日曜も開設）の午前10時から午後4時まで対応している。

問い合わせは
盛岡運転免許センター（TEL019・606・1251）
県南運転免許センター（TEL0197・44・3511）
大船渡警察署（TEL0192・26・0110）

亡くなられた方々

—28日分—

大船渡、陸前高田両市が28日までに確認した新たな犠牲者次の通り（安置場所は変更する可能性あり）。

【大船渡市】

▽大船渡町＝坂本廣治（64）山本浩幸（38）山本礼唯（0）佐藤ヤオ子（82）栫裕（56）新沼剣悟（30）新沼市子（80）新沼敦子（54）黄川田雄二（45）

▽末崎町＝村上耕治（75）佐藤芳昭（56）

▽三陸町越喜来＝小坪且子（78）坂本コイヨ（89）

【陸前高田市】

▽米崎中学校

千田博、安倍歩、安倍和子、藤野紗央理、新沼チヤ、新沼伉佗

▽下矢作小学校

菅野祥子（24）菊池豊治、村上隆（75）佐藤美貴子（65）高橋誠一（62）石川えり子（46）鶴島哲夫（78）福田茜（22）加藤陽子（74）

▽矢作小学校

星喜與恵、新田麗（4）佐藤マツノ（72）

▽矢作中学校

小泉ナツエ、高橋武志、鈴木庶子、笹倉隆子、大友隆美、菅野喜代子（80）及川淑朗（70）大友孝子（71）紺野志磨子（49）千田美加子（81）

▽住田町生涯スポーツセンター

中名生幸子（83）髙澤悦子（74）菅野己千代（94）菊池博（77）辻本智恵子（77）大坂シゲ子（71）増田恵子（71）上部郁雄（83）藤村喜美子（68）藤村剛（73）小松喜一（66）菅野チトセ（81）千葉良子（56）佐藤芳昭（56）佐藤仁（71）江戸勇（81）村上静一（55）伊藤チカ子（70）大塚トナミ（94）坂井宏（82）坂井玲子（76）佐々木章（81～82）菅野悦子、松田茂子（80）中野清美（38）堺好子（79）菅野恒雄（82）黄川田洋子（75）伊東智悦（73）菅原淳（28）明石和子（65）大友ヨシ子（64）佐藤ノブ子（89）河野万里（55）黄川田雄二（45）及川隆雄（70）吉田厚子、島倉幸子（55）佐々木良男（90）佐々木ユキノ（60）菅野和郎（84）菊池茂（33）

4月から個別配達再開

東海新報社では、今回の大津波被災翌日から緊急災害特集を避難所、一部地域などに無償個別配布を続けていますが、4月1日より有償の個別配達を開始することになりました。被災によって少なからずが打撃を受け、やむなく配達を休止していた販売店もありましたが、すべてが復旧に至ってはおらないものの、営業再開の体制が整った販売店から順に配達を開始いたします。

新規購読ご希望の方は、左記の販売店もしくは当社へ（TEL080・1661・0672）お申し込みくださいますようお願いいたします。

◇販　売　店◇

大船渡市＝小松専売店（大船渡町）、山本新聞店（同）、ふなと新聞店（同）、大船渡読売（同）、ASA大船渡（大船渡町）、三浦新聞店（盛町）、盛読売（同）、ASAさかり（盛町）、千葉梅新聞店（三陸町綾里）、菅生新聞店（同越喜来）

陸前高田市＝高橋新聞店（小友町）、吉田新聞店（広田町）、ASA陸前高田（米崎町、高田町、気仙町、竹駒町、下矢作地区）、奥野新聞店（横田町、竹駒町、住田町全域）、山根新聞店（竹駒町・米崎町・高田町・気仙町・下矢作地区）、林新聞店（矢作町）

住田町＝高橋新聞店（世田米）

安否情報 伝言メモ

▽「工房眞弓」こと鈴木眞弓は、盛岡の母の所に元気でいます。

▽行方不明者名簿にあった松原苑の鎌田サイ子は無事です。

▽大船渡市（25日現在）発表の行方不明者名簿にあった、佐々木省吾（岩崎）佐々木晶生（同）は無事です。

▽陸前高田市（25日現在）発表の高松ユキ子、高松るり子（羽根穴）は無事です。

▽薬王堂須崎橋店となりに住んでいた米倉盛二、米倉みち乃、米倉正、親子3人の安否が知りたいので、わかる方は末崎町字山根53、村上ナオミ（TEL080・6025・7384）まで連絡をください。

海上　天気

	海上	天気
◆きょう	2mのち1.5m	晴れ
◆あす	1m	晴れ時々くもり

あすの暦

3月30日（旧2月26日先負）

日出	5：21	満潮	1：49
日入	17：53	〃	12：24
月出	2：57	干潮	6：58
月入	13：55	〃	19：21
月齢	25・3	—若潮—	（大船渡湾）